

森林環境教育 えいのまる 北九州市立永犬丸小学校（4年生3クラス75名）

～校庭でのフィールドビンゴ～

梅雨末期の長雨の中、晴天に恵まれ校庭での樹木観察会を実施する事ができました。

最初に森林インストラクターの自己紹介とアイスブレイク「ノーズ」、森林インストラクター会についての説明をしました。

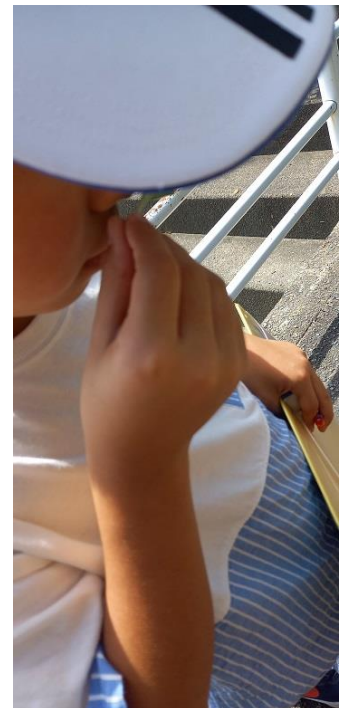
その後、9班に分かれて観察会を開始しました。観察した樹木は当校の校章になっているキリをはじめクスノキ・サクラ・ヤマモモ・グッケイジュ・ヒラギモクセイ・ナンキンハゼ・ウバメガシ等でした。子ども達はフィールドビンゴをしながら樹木の名前を覚えたり葉っぱを触ったり臭いをかいだり、実は食べられるのか?と質問があり熱心にメモをとりながら聞き取りました。イヌマキの葉っぱを使って手裏剣も作りました。当校には「でんどうの森」がありましたが、急斜面で観察会はできませんでした。

森林の話では、樹木観察会を通して木と友達になってもらって木の特徴や働きについてスライドを使って説明しました。森からの贈り物としてきれいな水や空気、木材、やすらぎをもらっているという事を学びました。

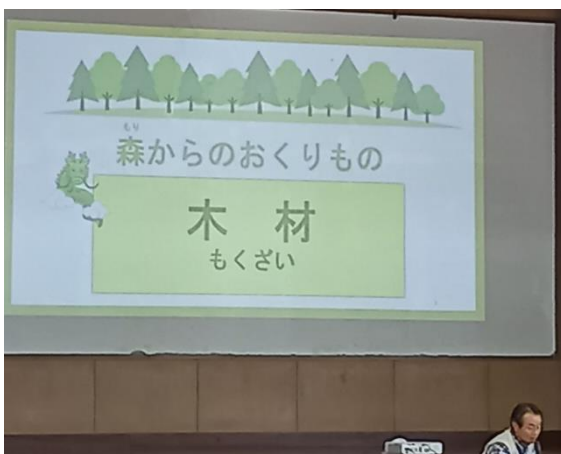
振り返りでは色々な役目を果たす木もあればそうでない木もあり、利用のしかたがわかって良かったと感想を述べてくれました。校長先生の事前の下調べがあったおかげで子供たちもさらに教えが伝わったようでした。体育館での講話の最中に大きな犬が2匹、中に入ってきたので永犬丸小学校の文字通りのハブニングもありました。（スタッフ:久保田、常藤、樋口、諸石、藤原、高田、野見山、轟、吉田）



でっかいキリの葉っぱ・校章



葉っぱの匂いをかぐ



森林の講話



アイスブレイク・ノーズ



振り返り



犬騒動